

ニート予防をめざす進路指導の下地として MoneyConnection®の経験を活用していきたい

ニート予防という問題に取り組む教育現場では、金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」は
どう捉えられているのでしょうか。東京都立足立高等学校で進路指導を担当する浦部ひとみ教諭に、プログラムを
実際に授業に取り入れた経験から、「MoneyConnection®」導入のメリットや生徒の反応について語っていただきました。

安易に将来を考えがちな生徒が お金や将来について考えるきっかけになる

—足立高等学校では、昨年
6月、3年生全員を対象に、ク
ラス単位で MoneyConnection®
を実施されていますが、プロ
グラム導入の意図について教
えてください。

「卒業後はとりあえずアルバ
イトでいいと、あまりにも安
易に将来を考えるケースが

目立ちます。そんな生徒に『そんなに軽く流しているの？』『自分で選
んだと思っているその自由な生活は、実は、他に選択肢がなく選ば
されたものではないの？』と問いかけたい。そのための仕掛けとして、
MoneyConnection® に注目したのです」

—生徒の反応はいかがでしたか？

「クラス単位で行ったことで、プログラムに集中できる環境が作れてい
ましたし、生徒も活発に反応していましたね。生徒はアルバイトの経験
から、どれくらい稼げるかという部分は意外と理解しているんですが、
支出には意識を払っていない。ですから、『こんなにお金がかかるの？』
という気付きや刺激につながったのは収穫だったと思います」

—生徒に変化はありましたか？

「一人暮らしをしてみたいと簡単に言う生徒が減りましたね(笑)。現
実が見えてきたようです。3年生も6月くらいになると、進路が現実
味を帯びてくる。そういう時期に行ったことで、卒業後の生活を少し
実感してくれたのではないかと思います」

金銭教育抜きに進路指導は考えられない。 MoneyConnection® が有効な手引きになる

—プログラムへの率直な感想をお聞かせ下さい。

「プログラムの内容が充実していると、大変好評でした。教員側の負
担も少なく、受け入れやすいプログラムです。

また、教員にとってもリアルな生活感を得る良い機会になりました。
『社会は厳しいよ』『それじゃあ食べていけないよ』という漠然とした
指摘で終わるのではなく、収入や支出を具体的に示しながら、将来の
生活や職業選択について指導する手引きになりますね」

—金銭教育の必要性について、どうお考えですか？

「高校は、生徒が社会に出る前に知っておくべきことを教育する最後の
チャンスだと思っています。やがて社会の担い手となっていくことを考
えれば、金銭教育を抜きにした進路指導は考えられない。今後、ますます
先が読めない時代になってくれば、お金についての実感が欠けたまま
社会に出て、なんとかなるという甘い考えは通用しなくなるでしょう。
MoneyConnection® は、今の高校生に必要なプログラムだと思います」

—外部の人間が学校にはいり教育プログラムを実施することに
ついて、現場の先生や生徒の反応はいかがでしたか。

「金銭教育の必要性を実感しながらも、実際に教員だけが指導するの
は難しいこともあります。だから外部の方の力をお借りできるのは
有り難いですね。生徒も、いろいろな人が来て話をしてくれることに
期待感を持っているようでした」

MoneyConnection®の経験が 今後の進路指導の下地として生きてくる

— MoneyConnection® は今後の進路指導にどう役立つと思われますか？

「自分の周囲で進路活動が活発になってくると、自分が流れから取り残されて
いると感じ、逆に自分の進路をまっすぐに見据えようと思わずに、そこから
あえて目を反らそうとする生徒も出てきます。そうした生徒を進路未定者
という不安定な状態で卒業させないためにも、先回りして引っ張るフックが必
要です。そのフックとなるのが、MoneyConnection® の経験だと思うのです」

—具体的にはどのように活用できるのでしょうか？

「自分の進路に無関心をよそおうというポーズを取り始めた生徒に、現
実の厳しさやお金のことを説明しても、容易には心を開かないでしょう。
でも、『ほら、あのと生活費ってこうだったでしょ？』と、プログラムの
内容を引き合いに出せば、共通の認識で話ができて、彼らの関心をこちらに
向かせることができると考えています。彼らも、プログラムをやったとき
に味わった実感を思い出すことができるはず。MoneyConnection®
の経験が、その後の進路指導の下地となって活
きてくると期待しています」

PROFILE 浦部ひとみ氏

現在、東京都立足立高等学校の進路指導部主任として生徒の
進路指導を担当。前任校でも進路部主任を3年間務めた実績
をもつ。また、東京都高等学校進路指導協議会事務局長として、
全国の先生方とのネットワークを活かし、活発に意見を交換
するなど、校内外で進路指導のエキスパートとして活躍中。



「MoneyConnection®」とは、日本で初めての試みとなる、ニート予防をめざした金銭
基礎教育プログラムのこと。若者の自立を支援するNPO法人「育て上げ」ネットと、
社会貢献活動として中学生・高校生向けのキャリアメンタリングプログラムを実施
してきたGE Moneyが共同で開発した。プログラムや教材の開発にあたっては、玄田

有史教授(東京大学社会科学研究所)をはじめ、ニート研究や教育・金融の専門家、さ
らに高校の現場でキャリア教育に取り組む先生方がアドバイザーとして参加。プロ
グラムの各種ワークを通して、お金・働くこと・生活・自分の価値観を考えることで、
若者達が自分の将来と真剣に向き合うきっかけをつくることを目的としている。

ニート予防をめざした金銭基礎教育プログラム

スペシャル対談

MoneyConnection® —— 高校生の意識に根付く リアルな金銭感覚と働くことの意義

GE Money 代表取締役社長兼会長 藤森 義明 / NPO法人「育て上げ」ネット 理事長 工藤 啓

高校の現場から

ニート予防をめざす進路指導の下地として MoneyConnection®の経験を活用していきたい

東京都立足立高等学校 進路指導部主任 浦部 ひとみ 教諭



2007年12月21日
東京都立小岩高等学校全日制課程 実施風景

開催回数: 62校(会場)
実施人数: 約9,437名

※2008年3月31日現在



活動内容はホームページでも報告しています。

<http://www.moneyconnection.jp/>

MoneyConnection® —— 高校生の意識に根付くリアルな金銭感覚と働くことの意義

ゲーム性を盛り込んだ楽しいワークを通じ、「お金の大切さ」「収入と働き方のバランス」を考えるきっかけを高校生に提供する MoneyConnection® (マネーコネクション®)。今回は、NPOと企業という立場でこのプログラムの開発・運営に携わっているNPO法人「育て上げ」ネットの理事長 工藤啓とGE Moneyジャパンの代表取締役社長 藤森義明がそれぞれの思いを語ります。



PROFILE
工藤 啓

GE Money (GEコンシューマー・ファイナンス株式会社) 代表取締役社長兼会長。GE Moneyは、米GE(ゼネラル・エレクトリック・カンパニー)の個人向け金融サービス部門であるGE Moneyの日本法人で、クレジットカード、住宅ローンなどの金融サービスを提供している。社会的責任という観点から、世界中で様々な金銭教育に携わっている。

高校生がお金や働くことについて考えるよい機会となったMoneyConnection®

工藤啓(以下、工藤)「私たち「育て上げ」ネットがGE Moneyと協力して「MoneyConnection®」を立ち上げてから約1年が過ぎました。各地の高校でプログラムを実施してきましたが、高校生はもちろん先生方からも高い評価をいただいています」

藤森義明(以下、藤森)「ゼロからターゲットやコンテンツなどを考えて開発した独自のプログラムでしたので、どう受け止められるか正直不安もありましたが、好評で嬉しいですね。「育て上げ」ネットでは、今回初めて「ニート予防」に取り組まれた。これまでは、ニートや引きこもりの自立支援を行って実績をあげられてきたわけですね」

工藤「そうですね。わたしは基本的に『人間、働いている方が幸せだ』と考えています。そこで、働いていない若者・働けない若者が親から自立し一人で経済的にやっていけるよう、幅広い支援活動を行っています。ただ、ニート状態になってしまった若者に手を差し伸べるだけでなく、『ニートを生まないための支援活動』についても、常々考えていました。ちょうどそのときに、GE Moneyと出会ったのです」

藤森「GE Moneyは世界各国で金銭教育を実施しています。日本でも金銭教育を展開することになり、日本で解決すべき社会問題やニーズが何であるのかを調査・分析していました。その中で浮かび上がったのが、まさに『ニート予防』というキーワードだった。」

工藤「必ずしも、お金のことを学べばニートにならないというわけではありません。

ただ、ニートに陥ってしまった多くの若者が生活のコスト感覚に欠けていて、『学生のうちに自立にかかるコストを知っておきたかった』と話しているのです。」

藤森「その話を聞いて、まさに現場で多くの若者に接しているからこそその気づきだと思いました。“お金に関する教育を通じて自立支援をする”という目的が合致したわけです。実際の授業では高校生は予想していた以上に、熱心に取り組んでくれていますね」

工藤「ゲーム性を取り入れることで、生徒たちにワークに参加することが楽しい、面白いと感じてもらえるよう工夫したことがよかったですね。そして、ただ楽しいだけでなく、『ちゃんと将来のことを考えて働くことを考えたい』といった感想も得られています」

企業とNPO、お互いの強みを出し合うことで生まれた大きな成果

藤森「私たち企業だけの発想で開発していたら、このようなプログラムを生むことはできなかったと思います。みなさん、そして開発に関わってくださった東京大学社会科学研究所の玄田教授をはじめ、アドバイザーボードの方々には本当に感謝しています。

ところで「育て上げ」ネットは弊社と組んで苦労はありませんでしたか？」
工藤「スピード感が違うと戸惑ったこともありましたが、GE Moneyの関わりは資金援助にとどまらず、プログラムの共同開発、アドバイス、人材面でのサポートといった部分にまでおよび、わたしたちは企業のプロジェクトマネジメントの手法を取り入れながら進めることができました。結果的により高い満足度を得られるプログラムを提供することができたと思っています」

藤森「今回のプロジェクトは、NPOと企業が連携し、社会問題の解決に寄与するための好事例になったと自負しています」

工藤「そうですね。我々NPOが持つネットワーク、実行スキルと企業の方々を持つマネジメントノウハウ、お互いに足りなかった部分を補完し合うことで得たものも多かったですし、1 + 1 = 2以上のインパクトを与えられたように思いますね」

藤森「今後、社会全体にこうした動きが波及してくれることを願っています」

工藤「藤森さんは、GE Moneyという一企業がMoneyConnection®という形態で学校教育に参加されることについて、どのような意義を感じておられますか？」

藤森「そもそもGE Moneyは個人向け金融サービスという業態ですから、一般の方々がお金に関する正しい知識を身につけられるように金銭教育等の活動で社会貢献することが企業責任であると考えています。MoneyConnection®が現在の高校生にとって有効で、社会に貢献しているのを実感できるのは嬉しい限りです。」



工藤「授業にはGE Moneyの社員の方々もファシリテーターとして参加していますが、高校生の皆さんにとっては、普段接することの少ない企業で働く大人と話せたことが、いい刺激になったと思いますよ」

藤森「そう感じてもらえたなら嬉しいですね。参加した社員は、いつも充実した時間を過ごしているようです。」

金銭基礎教育がまだまだ足りないことを実感 今後は海外展開も視野に入れていきたい

藤森「近年多くの金融機関が積極的に金融教育を行っていますが、私たちが実施する非常に基本的な「生きていくにはお金がかかる」「将来のことを考えて働き方を選ぼう」といったことを教える機会は、想像以上に少なかったようです」

工藤「MoneyConnection®は高く評価いただいておりますが、言い換えればそれだけ高校生に金銭“基礎”教育が必要であるということでもあるんですね」

藤森「お金との付き合い方を早い時期からきちんと理解し、働くことを前向きに考えてもらうことイコール、ニート化予防になるわけですから。一人でも多くの高校生にこのプログラムを体験してもらいましょう」

工藤「プログラムの拡大と同時に、拡充も考えなければいけません。1年間実施してきた、一過性で終わらせないためのノウハウなど、検討すべき部分も見えてきました」

藤森「日本以外での展開については何か考えていますか？」

工藤「ニートは日本だけの問題ではありません。韓国でも「白手(ベクス)」と呼ばれ、大きな社会問題になっています。近隣諸国と比較すれば、日本は若者支援対策を積極的に行ってきた実績があるのですから、ニート問題が顕在化しつつあるアジアの国々にも、この活動を広げていけたらと思っています」

藤森「GE Moneyもグローバル・カンパニーという特徴を活かして、金銭教育を通じたニート化予防に貢献していきたいですね」

工藤「これからも、ぜひよろしくお願いします」



PROFILE
藤森 義明

NPO法人「育て上げ」ネットの理事長として若年者就労支援に携わっている。内閣府「若者の包括的な自立支援方策に関する検討会」委員、厚生労働省「若者自立塾設立準備懇談会」委員等を歴任。著書に『ニート支援マニュアル』(PHP研究所)、『育て上げ』(駿河台出版)がある。

これまでに62の学校(会場)でプログラムを実施しました。

MoneyConnection®プログラム実施校一覧

東京都立 芝商業高等学校(定時制)	埼玉県立 川口高等学校
東京都立 三田高等学校(定時制)	埼玉県立 滑川総合高等学校
東京都立 松が谷高等学校	私立 白鷗大学足利高等学校
茨城県立 潮来高等学校	東京都立 小岩高等学校(定時制)
私立 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	茨城県立 守谷高等学校
東京都立 足立高等学校(定時制)	東京都立 洲江高等学校
私立 千代田女学園高等学校	横浜市磯子区役所
東京都立 洲江高等学校	栃木県立 真岡北陵高等学校
埼玉県立 妻沼高等学校	私立 横須賀学院中学高等学校
東京都立 第一商業高等学校	神奈川県立 逗葉高等学校
東京都立 三宅高等学校	神戸夙川学院大学
栃木県立 壬生高等学校	東京都立 荒川工業高等学校(定時制)
東京都立 小川高等学校一橋分校(定時制)	私立 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校
東京都立 新宿高等学校(定時制)	東京都立 立川高等学校(定時制)
東京都立 足立高等学校	東京都立 農林高等学校(定時制)
私立 敬愛学園高等学校	東京都立 小岩高等学校
神奈川県立 大和東高等学校	東京都立 砂川高等学校(通信制)
東京都立 八王子北高等学校	秋田県立 大曲農業高等学校
東京都立 東村山高等学校	青森県立 三本木農業高等学校
東京都立 多摩高等学校	私立 千代田女学園高等学校
埼玉県立 狭山高等学校(定時制)	神奈川県立 逗葉高等学校
神奈川県立 川崎工業高等学校	東京都立 飛鳥高等学校
東京都立 農業高等学校	東京都立 一橋高等学校(単位制)
東京都立 青梅総合高等学校(定時制)	栃木県立 鹿沼高等学校
北海道立 札幌白陵高等学校	山梨県立 甲府城西高等学校
私立 翔洋学園高等学校	東京都立 板橋有徳高等学校
東京都立 神津高等学校	埼玉県立 大宮工業高等学校
栃木県立 鹿沼商工高等学校	私立 作新学院高等学校
私立 桜林高等学校	福島県立 福島商業高等学校
東京都立 江北高等学校(定時制)	東京都立 荒川工業高等学校
東京都立 葛飾野高等学校	GE Moneyジャパン本社

※2008年3月31日現在

MoneyConnection®に興味のある方は、お気軽にお問合せください。
MoneyConnection®事務局 (NPO法人「育て上げ」ネット内)
Eメール: info@moneyconnection.jp TEL: 042-527-6051